
フレッシュプリキュア！～ゲットマウスの逆襲！煌めきのプリキュア・キュアメロン！！

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フレッシユプリキュア！〜ゲットマウスの逆襲！煌めきのプリキュア・キュアメロン！！

【Nコード】

N2025V

【作者名】

ユーリ

【あらすじ】

『フレッシユプリキュア！』のその後の話。『ゲットマウス』のボス・ゴードンが、ラビリンスの科学者と組んでプリキュア達に復讐を謀る！絶対絶命の危機に現れたのは、あの人だった・・・新しいプリキュア、登場！！

前編：ゴードンの復讐計画

皆は覚えているだろうか？

フレッシュプリキュア29話に登場した悪の組織『ゲットマウス』を。

そのボスであるゴードンが、再び動き出そうとしていた・・・

ラビリンス

南瞬

「大変だ、隼人！！」

西隼人

「どうした瞬、そんなに慌てて・・・」

瞬

「ラビリンスの地下金庫に厳重に保管されていた3つの物が、盗まれたんだ！！」

隼人

「何！？ブロンズナケワメーケ、シルバーナキサケーベ、ゴールドソレウォーターセの3つがか！？」

瞬

「ああ・・・ご丁寧に置き手紙まで置いてあったよ。あの3つを盗

み出したのは・・・『Dr・スカル・ボーンズ』だつてね。」

隼人

「スカル・ボーンズ・・・ラビリンスきつての科学者で、その余りのめり込み振りからマッドサイエンティストと呼ばれた、ヤツか・
・確かヤツは随分前にラビリンスを去ったハズだが？」

瞬

「『自分のやりたい事が見つかった』と言って、ラビリンスを離れていたっけ・・・何か目的があつて戻つて来たんだろうか？」

隼人

「わからん・・・そういえば、せつなはどこ行つた？」

瞬

「せつななら、学校の修学旅行で行つてるよ。」

隼人

「そうか・・・なぜか、イヤな予感がする・・・」

ゴードン『ゲットマウス ボス』

「クソ・・・ポセイドンの冷や汗を手中に収められなかったばかりか、執事もクビにされてしまった・・・それもこれも、あのプリキユアとかいう4人組のせいだ!!」

「おや、困つてらっしゃるようですね。」

ゴードンの前に、初老の男が現れた。

ゴードン

「アンタ、誰だ？」

Dr・スカル・ボーンズ『ラビリンスの科学者』

「私はDr・スカル・ボーンズ・・・あなたと同じく、プリキュアに恨みを抱く者ですよ・・・」

ゴードン

「アンタもプリキュアに恨みがあるのか？」

スカル

「ええ。よろしければ、あなたに協力をしましょうか？」

ゴードン

「助かるよ。プリキュアには恨みを晴らしたかったからな。プリキュア共が集まる場所は知っている。橘薫が運営するドーナツ屋だ。」

スカル

「では、早速私の部下に偵察させましょう。行け、我が僕よ。」

スカルはカラスを召還し、偵察に行かせた。

カオルの運営するドーナツ屋

蒼乃美希 あおのみき

「このドーナツはいつ食べても最高ね。」

山吹祈里 やまぶきいのり

「だね。ラブちゃんとせつなちゃん、楽しくやってるかなあ？」

美希と祈里は談笑している。

すると、隼人と瞬がやって来た。

瞬

「美希、祈里！」

美希

「瞬！」

祈里

「隼人さんも！どうしてここに？」

瞬

「実はね……」

美希

「ラビリンスの金庫から3つの重要物が盗まれた？」

隼人

「ああ……銅のナケワメーケ、銀のナキサケーベ、そして金のソ

レクターセの3つがな。」

瞬

「盗んだヤツはラビリンスの科学者で、スカル・ボーンズという男なんだ。マッドサイエンティストで、その思想はかなり危険だ。」

隼人

「メビウスが倒されてラビリンスが生まれ変わったのをスカルは知らないからな。もしかしたら人間界に来てるかもと思って来てみたんだ。」

瞬

「ラブとせつなは中学校の旅行かい？」

美希

「ええ、四つ葉中学校の。場所は沖縄だって言ってたわ。」

隼人

「そうか・・・何事もなければ良いんだが・・・」

4人の会話を、遠くから1羽のカラスが聞いていた。

沖縄

ラブとせつなは、四つ葉中学校の修学旅行で沖縄に来ていた。

東せつな

「美味しいわ、このゴーヤチャンプル。」

桃園ラブ

「でしょ？良かった。」

その後、2人はパイナップルやバナナを食べたり、沖縄の観光名所を回って過ごした。

そして、その夜・・・

ラブ

「せつな、明日はどこ回る？」

せつな

「そうね・・・水族館行って、それから植物園を回りたいかな。」

ラブ

「じゃ、それでいい！」

ラブとせつなの部屋の外から、カラスが見ていた。

ゴードン

「なるほど、水族館に行ってから植物園か・・・」

スカル

「ならば、植物園にあなたの部下達を行かせましょう。そこで待ち伏せるのです。」

ゴードン

「よし、わかった。」

翌日

水族館

せつな

「大きいエイね。」

ラブ

「一番大きな種類はオニイトマキエイと言って、通称『マンタ』って呼ばれてるんだよ！」

せつな

「へー。」

植物園

せつな

「珍しい植物が一杯ね。」

ラブ

「でもおかしいなあ。」

せつな

「何が？」

ラブ

「大輔の話じゃ、この植物園いつもはもっと人がいるらしいんだよ。でも今日はなぜか私達しかいないでしょ？」

せつな

「確かに変ね……。！？」

ラブ

「どうしたの、せつな？」

せつな

「……誰か、いる……」

次の瞬間、ラブとせつなの周りに黒服の男達が現れた。

ザッ！

ラブ

「な、何なのこの人達……」

せつな

「ラブ、こっち！」

せつなはラブを引っ張り、奥へと走り出した。

黒服の男達も、彼女達を追って行く。

ラブ・せつな

「ハアハア・・・」

ラブとせつなは必死に逃げていたが、やがて植物園最奥部に追い詰められた。

ラブ

「行き止まりだよ！」

せつな

「仕方がないわ、こうなったら変身して突破を・・・」

そう言った次の瞬間、ラブとせつなは男達に後ろから羽交い締めにされた。

ガシッ！

ラブ・せつな

「キャッ！？」

そして、後ろからハンカチで口を塞がれる。

ガバッ！

ラブ・せつな

「んぐっ！？」

2人はしばらくもがいたが、徐々に目がトロンとしてきた。

ラブ・せつな

「うう・・・」

そしてとうとう、ラブとせつなは意識を失った。

中編：誕生！煌めきのプリキュア！！

せつな

「うゝん・・・」

せつなはうつすらと目をあけた。

せつな

「ここは・・・？あ、ラブ！ラブ！！」

せつなはラブに話しかけた。

ラブ

「う・・・あ、せつな！」

せつな

「良かった、目が覚めたのね。」

ラブ

「頭が痛い・・・せつな、ここどこ？」

せつな

「わからないわ。でも、確かな事が1つあるわ。私達、誘拐されたみたいね。」

ラブ

「みたいだね・・・手足と体を縛られてるし・・・」

ラブとせつなは、手足と体を縄で縛られていた。

「目が覚めたか？」

ラブ・せつな

「？」

ラブとせつなが振り向くと、そこには見知った男が立っていた。

ラブ

「あ、あなたは・・・ゴードン！！」

ゴードン

「覚えていたか。」

せつな

「あなた、何のつもりで私達を誘拐したの？」

ゴードン

「ククク、教えてやろう。私はこの男と組んだのだよ。」

ゴードンの後ろから、白衣を着た男が現れた。

せつな

「あなた・・・スカル・ボーンズ！？」

スカル

「これはこれはイー・ス様。私如きを覚えてくださってるとは光栄です。」

ラブ

「せつな、誰なのこの人？」

せつな

「この人はスカル・ボーンズといって、ラビリンスの科学者なの。あまりの入れ込みように、ラビリンスではマッドサイエンティストと呼ばれていたわ。でも彼は随分前にラビリンスを去ったハズだけど・・・」

スカル

「ついこないだ戻って来たのですよ。そして、メビウス様がプリキユアに倒された事を知った。私はプリキュアに恨みを晴らすため、同じく恨みを持つゴードン様に協力を申し出たのですよ。しかしまさかイース様がプリキュアだったとはね。」

せつな

「私達をどうするつもり？」

スカル

「あなた方は人質です。他のプリキュアを呼び出すためのね。さて、あなた方には静かにしてもらいましょうか。」

スカルはそう言うとガムテープを取り出し、ラブとせつなの口に貼った。

ペタッ！

ラブ・せつな

「んっ！！」

それからしばらくして、美希の携帯に電話がはいった。

美希

「ラブから？もしもし、ラブ？」

スカル

「初めまして、お嬢さん。」

美希

「あなた誰？どうしてラブの携帯を！？」

スカル

「ククク、それは・・・私がラブさんとせつなさんを預かっているからですよ。」

美希

「な、何ですって！？2人は無事なの！？」

スカル

「ええ、今はね・・・さて、こちらからの指示です。この2人を助けたくば、明日沖縄にある海岸に来なさい。無論、あなたの仲間達も連れて来て良いですよ。」

美希

「ラブ達に何かしたら許さないから。」

スカル

「わかっていますよ。では。」

瞬

「電話、誰からだ？」

美希

「妙な男からよ。ラブとせつなを誘拐したって……」

祈里

「ラブちゃんとせつなちゃんが!？」

隼人

「クソッ、遅かったか……ソイツは多分、スカルだ……」

美希

「ラブ達を助けなきゃ……」

「今の話、聞かせてもらったわ。」

美希

「ミ、ミユキさん!？」

知念ミユキ

「ラブちゃん達は私の大切な生徒。私も一緒に行くわ。」

美希

「ラブ、せつな!待っててね!！」

翌日 沖縄の海岸

美希達は指定された海岸にやって来た。

「来たようですね。」

美希

「!!!」

美希達の前に、1人の男が現れた。

美希

「あなたがスカル・ボーンズね？」

スカル

「そうですよ。そして、この方もいましてね。」

スカルの後ろから、ゴードンが出て来た。

美希

「ゴ、ゴードン!？」

ゴードン

「久しぶりだな、プリキュア。」

祈里

「ラブちゃん達はどこなの？」

スカル

「ククク・・・あそこですよ。」

スカルが指差した方向に、ラブとせつながいた。

2人は檻に閉じ込められ、巨大な金色の植物に捕まっている。

ラブ・せつな

「みんな!!」

美希

「あの植物は・・・？」

スカル

「ゴールドソレワターセですよ。そしてブロンズナケワメーケ、シルバーナキサケーベもいましてね。さあ、オマエ達！彼女達を可愛がってあげなさい!!」

美希

「ナメないでよね！ブッキー、いくわよ!!」

祈里

「うん!!」

美希・祈里

「チェインジ・プリキュア！ビートアップ!!」

美希

「ブルーのハートは希望の印！摘みたてフレッシュ！キュアベリー

「!!」

祈里

「イエローハートは祈りの印!とれたてフレッシュ!キュアパイン!!」

隼人・瞬

「スイッチ・オーバー!!」

ゴードン

「かかれえ!!」

ナケワメーケとナキサケーベ、そしてゴードンが従えるゲットマウスの構成員達が、一斉に向かって来た。

ベリーとパインは怪物を、隼人と瞬は構成員達を相手にする。

だが構成員達はかなり強く、ナケワメーケとナキサケーベも今までの怪物より格段に強かった。

4人は次第に追い詰められていく。

美希・祈里・隼人・瞬

「ハアハア、ハアハア・・・」

スカル

「こんなものですか。伝説の戦士プリキュアも、大した事ありませんね。」

美希

「くう・・・」

スカル

「そろそろ終わりにしましょうか・・・」

ミュキ

「待ちなさい!!」

スカル

「ん？」

ミュキが美希達の前に出てきた。

ミュキ

「あなた達、随分と卑怯なのね。」

ゴードン

「何とでも言いな。オレはプリキュアに恨みを晴らすためなら何だってやる。」

スカル

「そこを退きなさい。さもなければあなたもケガしますよ?」

ミュキ

「そうはいかないわ。ラブちゃん達は私の大切な教え子・・・守るべき子達・・・心の煌めきだけは、消させない!!」

ミュキがそう叫んだ時、ミュキの眼前に緑色のピククルンが現れた。

ミュキ

「え？」

美希

「ピックルン！？」

祈里

「まさか、ミュキさん・・・」

タルト

「やるんや、ミュキはん！！」

ミュキ

「ええ！！」

ミュキは携帯を取り出す。

すると、携帯の形が変わった。

ミュキ

「チェインジ・プリキュア！ビートアップ！！」

ミュキは緑色の光に包まれた。

髪が黄緑色に変わり、巨大なポニーテールになる。

次の瞬間、ミュキは緑色の服に包まれた姿になっていた。

ミュキ

「グリーンハートは煌めきの印！輝けフレッシュ！キュアメロン！！」

後編：炸裂！レインボーフレッシュ！！

メロン

「グリーンハートは煌めきの印！輝けフレッシュ！キュアメロン！
」

パイン

「まさかミユキさんもプリキュアだったなんて・・・」

ベリー

「気のせいかしら？私達より露出度が高いような・・・」

そりゃそうだ、高校生なのだから。

スカル

「ほお、プリキュアになりましたか。ですが彼女達がいる限り、こちらの優位は揺るがな・・・」

ダンッ！！

メロン

「ハアアアア！！」

ドゴォ！！

『ゴア！？』

メロンは一直線に突っ込んでいくと、ソレワターセを弾き飛ばしラ
ブとせつなが閉じ込められている檻を破壊した。

バキィ！！

タンッ。

ラブ

「助かりました、ミユキさん。」

せつな

「ラブ！」

ラブ

「うん！！」

ラブ・せつな

「チェインジ・プリキュア！ビートアップ！！」

ラブとせつなは変身した。

ピーチ

「ピンクのハートは愛ある印！もぎたてフレッシュ！キュアピーチ
！！」

パッション

「レッドのハートは幸せの印！熟れたてフレッシュ！キュアパッシ
ョン！！」

ピーチ・ベリー・パイン・パッション・メロン

「フレッシュ！プリキュア！！」

ゴードン

「おのれえ!!」

ゴードンは冷静さを失い、構成員達を差し向けた。

スカル

「いけません、ゴードン！感情に身を任せては……」

冷静さを欠いたゴードンが指示した構成員達など、ピーチ達には敵ではなかった。

あっという間に、構成員達は全滅した。

ゴードン

「あ……あ……」

サウラー

「終わりだよ!!」

トスツ！

ゴードン

「うつ……」

サウラーが手刀でゴードンを気絶させた。

ウエスター

「さあ、後はオマエだけだスカル。観念しろ。」

スカル

「フツ、ゴードンを倒しただけで勝ったつもりですか？3つの兵士がいる限り、私の有利は揺るがない！行け！！」

ナケワメーケ、ナキサケーベ、ソレワターセが一斉に向かって来た。

メロン

「みんな、必殺技で対抗よ！！」

ピーチ・ベリー・パイン・パッション

「はい！！」

ピーチ

「ピーチロッド！！」

ベリー

「ベリーソード！！」

パイン

「パインフルート！！」

パッション

「パッションハープ！！」

ピーチ

「プリキュア・ラブサンシャイン……」

ベリー

「プリキュア・エスポワールシャワー……」

パイン

「プリキュア・ヒーリングプレアー……」

ピーチ・ベリー・パイン

「フレッシュシュー!!」

ピーチ・ベリー・パインの連携攻撃が、ナケワメーケを吹っ飛ばした。

パッション

「プリキュア・ハピネスハリケーン!!」

パッションの攻撃が、ナキサケーベを吹き飛ばし地面に叩きつける。

メロン

「弾き歌え!煌めきのビート!!メロンギター!!プリキュア・プリズムビートソニック!!」

メロンがギターを弾き鳴らし、ソレワターセを吹っ飛ばした。

スカル

「バカな!?コイツらは伝説の3兵だぞ!!まさかこんな小娘共に残れをとるというのか?ならば、私も奥の手を出すまでだ……」

スカルは灰色と黒色のカプセルを取り出した。

スカル

「この薬は私の身体能力を何倍にも引き上げる効果を持つ。コイツを使って、3兵の能力を格段に上げてやれば良い!!」

スカルは薬を飲み込む。

ゴクン！

スカル

「来い！ナケワメーケ、ナキサケーベ、ソレワターセー！！」

スカルは3兵と融合し、禍々しい怪物と化した。

ドオン！！

スカル

『さあ、かかってこいプリキュア共！！』

ピーチ

「なっ・・・」

パイン

「あんな大きいの、どうしたら良いの！？」

メロン

「大丈夫よ、みんなで力を合わせれば・・・」

タルト

「そや、クローバーボックスを使うんや！！」

ベリー

「クローバーボックスを？」

ピーチ

「わかったわ！！」

ピーチ達は、スカルの方を向いた。

ピーチ

「クローバーボックスよ・・・私達に、力を貸して!!」

ピーチ・ベリー・パイン・パッション・メロン・ウエスター・サウラー

「プリキュアフォーメーション!!」

ピーチ

「レディ・ゴー!!」

ダンッ!!

サウラー

「サウスリーフ、セット!!ウエスター!!」

ブンッ!

パシッ!

ウエスター

「+1!ウエストリーフ!!メロン!!」

パシッ!

メロン

「+1!プリズムリーフ!!パッション!!」

パシッ！

パッション

「+1！ハピネスリーフ！！パイーン！！」

パシッ！

パイーン

「+1！プレアーリーフ！！ベリー！！」

パシッ！

ベリー

「+1！エスプワールリーフ！！ピーチ！！」

バシッ！！

ピーチ

「+1！ラブリーリーフ！！」

ヒュンヒュン！

ピーチ達が、それぞれの位置に降り立った。

巨大怪物を囲む。

ピーチ・ベリー・パイーン・パッション・メロン・ウエスター・サウラー

「ラッキークローバー・グラントフィナーレ！！レインボーフレッシュシュ！！！！」

バキーン！！

スカル

『又オオア・・・私は、負けぬ・・・』

ピーチ・ベリー・パイン・パッション・メロン・ウエスター・サウ
ラー

「ハアアアアアア！！！」

『シュワ〜シュワ〜・・・』

パアアアア・・・

巨大怪物は浄化され、元の種に戻った。

スカル

「バカな・・・この私が・・・」

スカルは気絶した。

その後ゴードンとゲットマウスの一味は再び逮捕され、スカルはラ
ビリンズの特別独房に投獄された。

ミユキは突然プリキュアになった事に困惑していたが、ラブ達の力
になれる事を喜び、彼女達の仲間になる事を決意した。

終わり

後編：炸裂！レインボーフレッシュ！！（後書き）

桃園ラブ／キュアピーチ：本作品の主人公で、プリキュア4人の中心的存在。公立四つ葉中学校の2年生。ピッグテール風の髪型が特徴。幼なじみの美希・祈里とは学校こそ違うものの、家族ぐるみにつき合いが続いている。忙しい母親に代わって小さい頃から家事を手伝っていたため料理が得意で、ハンバーグが十八番であり、好物でもある。一方でニンジンが苦手で、裁縫も下手。口癖は『幸せGETだよ！』。ピルンによって最初に覚醒したプリキュア。ラブがトリニティのイベントでナケワメーケに襲われ、その際ピルンによって『愛』の力に目覚め、キュアピーチへと変身する。モモをモチーフとしており、イメージカラーは桃色。登場の掛け声は『ピンクのハートは愛ある印！もぎたてフレッシュ、キュアピーチ！』。髪の色はレモン色となり、長いツインテールの髪形となる。

蒼乃美希／キュアベリー：ラブと祈里の幼なじみ。芸能学校である私立鳥越学園中等部の2年生。腰まであるロングヘアが特徴。4人の中で一番背が高い。ラブからは普段『美希たん』と呼ばれている。実家はヘア＆ネイルサロンを経営。両親は離婚しているため母親との2人暮らしだが、弟の和希とは別居してから仲が良く、互いに会って遊ぶことも多い。幼少時のトラウマからタコが苦手で、たこ焼き屋の看板を見ただけでも取り乱す。口癖は『アタシ完璧！』。ブルンによって2番目に覚醒したプリキュア。美希が和希と共に遊びに出かけた時にナケワメーケに襲われ、その際ブルンによって『希望』の力に目覚め変身する。ブルーベリーをモチーフとしており、イメージカラーは青色。登場の掛け声は『ブルーのハートは希望の印！つみたてフレッシュ、キュアベリー！』。腹部の開いた露出度の高いコスチュームと、巻き髪を頭頂部より少し横で束ねた藤の花や葡萄の房を思わせる髪型、そして左腰に結ばれた長く青い帯のり

ボンが特徴。

山吹祈里／キュアパイン：ラブと美希の幼なじみ。ミSSIONスクールである私立白詰草女子学院中等部の2年生。肩まである髪の一部を右上で結んだサイドポニーの髪型をしている。ラブ達からは『ブッキー』と呼ばれている。自身のピククルンであるキルンを介す事で動物の言葉を理解出来る。3歳の時に噛まれたトラウマからフレットが苦手で、当初はタルトに近づくことさえ出来なかったが、ある事件の後に克服し、彼とも親しくなった。口癖は『私、信じてる！』。キルンによって3番目に覚醒したプリキュア。祈里がタケシとラッキーとで川原で遊んでいたところをナケワメーケに襲われ、その際キルンによって『祈り』の力に目覚め変身する。パイナツプルをモチーフとしており、イメージカラーは黄色。登場の掛け声は『イエローハートは祈りのしるし！とれたてフレッシュ、キュアパイン！』。コスチュームは全体的に下ぶくれのデザイン。髪型は色が薄くなり、少しウェーブがかかる程度で、他のメンバーほど劇的に変わらない。

東せつな／キュアパッション：ラブの同居人である少女。髪型は黒髪セミロング。好きな色は赤。ラブとほぼ同じ位の背丈である。元々はイースが一般人を装う際の仮の姿であったが、プリキュアとして転生した際にこちらが本来の姿となった。ラビリンスから離反した後は桃園家に同居し、四つ葉中学校でラブと同じクラスに通う。桃園夫妻からは『せつちゃん』と呼ばれている。勉強やスポーツをそつなくこなし、遠くの物を正確に見られる視力など幅広い優秀さを持つが、ピーマンだけは苦手。また、ラブ達の世界の一般常識や流行については疎く、時折天然ボケともとれる言動もある。最終決戦後は元幹部達と共に、ラビリンスを幸せな世界にするため帰郷を決意し、ラブ達に1度別れを告げたが、学業を受けるために戻って来た。口癖は『精一杯、頑張るわ！』。一度寿命を迎えたイースが、

アカルンの力で束せつなを本来の姿としたキュアパッションとして転生し、『幸せ』の力で覚醒した4人目のプリキュア。パッションフルーツをモチーフとしており、イメージカラーは赤色。登場の掛け声は『レッドのハートは幸せの印！熟れたてフレッシュ、キュアパッション！』。髪の色は淡いピンク色となり、腰まで伸びるような長髪となる。赤と黒を基調とした配色で、タイツの着用など、コスチュームが他の3人とは大幅に異なる露出度の低いものとなっており、靴もハイヒールのショートブーツである。

知念ミユキ／キュアメロン：アイドルユニット『トリニティ』のリーダーで、現役高校生アイドルである少女。ナケワメーカーに襲われた際ラブに救われ、彼女や美希達にダンスを教える事になる。大輔の実姉。時折ラブ達に厳しい言動をすることも。1度タルトにプリキュアに勧誘されているが、ダンスとの両立を理由に断っていた。ラブ達の危機にて、自分が何もできない事を悲しみ、彼女達を助きたいという気持ちにかられピククルンを呼び寄せる。口癖は『心の煌めきだけは、消さない！』。ミドルンにより覚醒した、5人目のプリキュア。『ハートキャッチプリキュア』のキュアムーンライトに次ぐ高校生プリキュアである。メロンをモチーフとしており、イメージカラーは緑色。登場の掛け声は『グリーンハートは煌めきの印！輝けフレッシュ、キュアメロン！』。髪は腰まで伸びた長髪になり、色も黄緑色に変わる。他の4人と比べるとやや大人っぽい姿であり、露出度も高い。

西隼人／ウエスター：ラビリンスの元幹部。明るい性格であり、ドーナツが好物。

南瞬／サウラー：ラビリンスの元幹部。インドア派でかなりの甘党。

ゴードン：犯罪組織『ゲットマウス』のボス。かつてポセイダンの

冷や汗を盗もうとして失敗し執事もクビになったためプリキュアを恨んでいる。

Dr・スカル・ボーンズ：ラビリンスの科学者。その入れ込みようからマッドサイエンティストと呼ばれた男。プリキュアに恨みを抱いており、ゴードンに協力を申し出る。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2025v/>

フレッシュプリキュア！～ゲットマウスの逆襲！煌めきのプリキュア・キュア

2011年9月5日16時19分発行